



これが『相性』?それだけではないような...。
岐阜 1-3 東京V【第1節】

苦手な相手には、やっぱり勝てないの...。嶋田のルーブシュートで、追いついたはずだったのに。横浜FCと仲良く19点ですか...。観客数もここ最近では最も少ない3000超ですから...。集客が悪い訳なんだろうか? (s223)

FC岐阜は長良川で東京Vと対戦し1対3で敗戦。嶋田選手のゴールで1対1になったまでは良かったが.....。次の試合こそ勝利を。FC岐阜頑張れ!(ハマッチ)

色々言いたい事はあるのですが、相変わらずの不甲斐なさでした。試合後に激しいブーイングが起きましたが、当然と言えば当然でしょう。開幕からたったの1勝で、簡単に失点を許す守備陣に「攻撃の工夫が足りない」といまだに言っている攻撃陣と、試合毎にイライラと不安が募る日々が続いています。僕一人だけが危機感を抱いている気がして、とても腹立たしく思います。(ブラウ)

現地で感じたことと、録画で確認するのとが違った印象になることはよくあるけれど、この試合中に感じたことは録画を見終わっても同じだった。それは、後半開始直後の東京VのCK。そのセカンドボールを拾ってのカウンターは3対2。右に押谷、左に染矢。「ソメだ!!ソメに出せ!!」と心の中で叫んだけど、ボールを持つ正吾が選んだのは逆。その時点で、得点の匂いが消えたような気がした。ゴールへの角度、走り込むスピード、DFとの距離。どれを取っても、染矢だったと思うけどなあ。アレが、ボクの中では勝敗の分岐点。2点目をどちらが取るか?が鍵だったし、特にウチにとっては先に点を取られると、状況が厳しくなるのは目に見えてる。もちろん、異論は認めます(笑)。

ただ、失点は増えただけ、東京Vは昨季の方が強かった。というか「らしさ」がなくなった、というべきか?昨季のメンバーから柴崎と高木兄が抜けたせいもあるのかな。勝つチャンスは、今までの対戦の中で一番あったと思う。いったん追いついてからの前半は、ずっとこっちのターンだったから、アソコで勝ち越せるとよかったんだけど.....。染矢、そして秋田のシュートが決まらなかったのは返す返すも残念だ。

東京Vの土屋は、相変わらず守備が効いてたなあ。なんか、最後の方は土屋のいるトコばっか蹴り込んでたような気がしたけど、録画を見たらそうでもなかった。息が上がってるようでも、でも所要所をきっちりツブしてきた。あいうDFがウチにもいるとイイのだけれど(苦笑)。それから、優大入れて押谷を残した意味って何だろ~?大分戦と同じになっちゃったけど、「大戦(ロング・ボール放り込み)」が狙いじゃなかったのかな?

残念な結果だったけど、正吾のゴールは水戸戦に続いて、これまた見事だったね。切り返して土屋を外したところで勝負あり!って感じだったけど、さらにルーブだもんねえ。ソメと正吾が元気なうちは、それなりに何とかなるかもしれん。そんな気もする。なにげに三田のロング・フィードが効いているから、攻撃の基点が卓以外にも増えている。あとは、押谷の完全復調待ち。

となれば、問題は守備。一刻も早く改善してほしい。とはいえ、攻撃はアイデアだけ、守備は熟練。シーズンはまだ序盤。気長に待つことにします。それしかできない(苦笑)。試されているんだと思うことにします。(ぐん、)

前半の途中までは「どうなっちゃうんだ、この試合」と思った。嶋田正吾の同点ゴールあたりからはだいたい戻ってしまっただけ、後半になつたらモトに戻ってしまった。そして三田光が下がると、わずかに残っていたリズムも綺麗に消えて、そこにはいつもの見慣れたバタバタの場当たりサッカーがあるだけだった。

「選手は懸命にやっている」のは事実だろうし、いまの選手として出せるチーム・パフォーマンスはもしかしたらこれが限界ってことなのかもしれない。でもその中でどうやって売れる“商品”を作って提供していくのか。プロ・クラブである以上はFC岐阜が行うサッカーは“商品”であって、顧客にそれを買ってもらうための種にしているんじゃないのかな。

木村監督はそろそろ『手腕』というものを見せほしいと思う。ぼくは選手の経験ないけれど、選手の自主性で守備組織を作れるほどサッカーってカンタンなチームスポーツじゃないんじゃないだろうか。(吉田鑄造)

【ユース】
1次予選リーグ突破しました

我がFC岐阜ユースU-18(以下「岐阜ユース」)は5月14日(土)に「日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会」の1次予選リーグ戦の試合を戦いました。相手は愛知FC。名古屋市を本拠地として活動するサッカーのクラブチームで、これまでに中西哲生、矢野隼人、斎藤大輔をはじめとするJリーガーを輩出しているユースチームの強豪です。昨年の同大会でも岐阜ユースは2度対戦していますが、2度とも敗戦しています。

試合は11時にキックオフ。前半はほぼ互角だったと思います。1対1のシーンでは岐阜ユースの選手の方がボールをキープ出来ていましたが、愛知はチーム全体の約束事を選手が意識してプレーしているようで、運動して岐阜ユースのゴールに迫ります。岐阜ユースも都度その攻撃を撥ね返していましたが、その何回目かの時に岐阜ユースの選手がPA内で相手選手を倒してしまい、愛知がPKをゲット。これをしっかりと決められて愛知が先制点を取ります。

その数分後に岐阜ユースは逆にPKを得ますが、相手GKにコースを読まれてしまい残念ながらNG。その後岐阜ユースは流れの中で追加点を許してしまい、0対2で折り返し。後半はどちらかと言うと愛知ペース。何度もピンチの場面を向かえますがディフェンス陣の必死の踏ん張り得点を許しませんが、逆に得点も奪えないまま試合終了。結果0対2で敗れました。

これで岐阜ユースは1次予選リーグ全試合が終了。4戦して2勝2敗の勝ち点6。試合日程の関係で他のチームは2日にまだ試合が有りませんが、岐阜ユースは3位が確定し、2次トーナメント進出を決めました。

2次トーナメント1回戦は1次リーグの1位のチームとの対戦となりますので、岐阜ユースとしては一度負けたチームとの再対決となります。どうも選手達は2度の敗戦について「負けた気がしない」と雪辱に燃えている様子。今度はきっちり勝って貰い、続くグランパスユース戦に挑んで貰いましょう。FORZA!FC岐阜ユース!!(シュナ)

today's guest

徳島ヴォルティス

2010 J2第8位
J2通算対戦成績 :5勝1分2敗

2010成績
第1節 10/05/05 徳島 4-0 岐阜
第2節 10/10/03 岐阜 2-徳島

2009成績
第0節 09/03/29 徳島 3-1 岐阜
第2節 09/06/24 岐阜 3-0 徳島
第5節 09/12/05 岐阜 2-徳島

2011J2 順位表 第1節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点)

1 千葉	15p	+8	11	3
2 栃木	13p	+4	10	6
3 徳島	13p	+3	8	5
4 湘南	11p	+6	8	2
5 熊本	11p	+2	4	2 A
6 鳥栖	10p	+3	8	5
7 草津	09p	0	7	7
8 大分	08p	0	6	6 H
9 水戸	08p	0	5	5 H
10 富山	08p	-1	4	5 A
11 FC東京	08p	-2	3	5
12 東京V	07p	+2	9	7 H
13 札幌	07p	-1	3	4
鳥取	07p	-1	3	4
15 愛媛	07p	-2	6	8
16 北九州	07p	-5	4	9
17 京都	05p	-2	4	6
18 岡山	05p	-6	6	12
19 横浜FC	04p	-4	5	9 A
岐阜	04p	-4	5	9 --- ---

次回 HomeGame

第1節
湘南ベルマーレ戦

6/4(土) 19:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)
5/22号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく&吉田鑄造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願いを致します。



本庄工業株式会社

http://www.honj-woodream.com/

「最下位脱出」の直接対決はドロー。 横浜FC1-岐阜【第12節】

FC岐阜はアウェイで横浜FCと対戦し1対1で引き分け。佐藤選手はゴールで先制しただけに勝ちたかった。次の試合こそ勝利を。FC岐阜頑張れ！(ハマッチ)

染矢 佐藤の今年初めてと思う「らしい」形で先制できたが後は尻すぼみ。前半でケリをつけたはずだしつけねばならなかったと思う。それが出来ないから今の最下位って現実なんだと思います。どちらかと言えば問題はDFとGKにあると感じていたのですがこの試合の失点はその最たる物。以前甲府の片桐に恩返し弾喰らって負けたときの彼の言葉が未だ改善されてない証拠でした。基本的に木村さんはメンバーを変に弄らずある程度ベースのメンバーを決める節があるのですがそれは勝ってる時ならともかく負けこんでときのやり方としては違和感があります。かといって負けるたびに弄っていてもそれはそれで困り者なのですが.....。正直言って今の岐阜は歴代最弱だと思ってます。その思いを打ち消すような試合を見たいのですが.....。(ジュニア)

もったいない失点で勝ちを逃した、と言いたいところだけれど、相手のシュートがことごとく枠に行かなくて、正直助かったという印象も受けた試合。

恭平の負傷で後半から出場した村尾が、身を挺して防いだシュートはたぶん1本。ブラジル人選手が2人出てきた後半はあわやの場面続出だったけど、前半の横浜はある意味ウチ以上に最終ラインがアラアラで、この順位にいるのがわかるような状態。こちらの時間帯に追加点が取れなかったのが勝てなかった理由かな？そんな前半で、ホンット~に惜しかったのが先取点後の押谷のシュート。遠い方のゴールだったけど、正直鳥肌が立ちそうでした.....。ゴールに背を向けてボールを受けて、振り返りざまの強烈な一撃。前に出ていた相手GKには、万に一つもチャンスのないノールック・シュート。決まれば、スカパー！のJリーグ・アフターゲームショー(JAGS)でJ2今節のベスト・ゴール確定級。.....ポストに当たらなきゃ、ね。でも、一瞬東京ビクトリー戦での達海猛のシュートがシンクロしちゃいました(爆).....すいません、「ジャイアント・キリング」(マンガ&アニメ)の話です。それなのに、録画したスカパー！では画面の切り替えが遅れ、シュートした場面さえ映っていませんでした。わずかに、ボールがポストに跳ね返った場面のみ。残念です。ガッカリです。あれが、得点シーンなら大失態になるところですよ。今後は、十分注意してほしいですね>スカパー！さん(笑)

この試合でも、三田が効いていました。先取点の場面で、染矢へパスを通したのは彼です。前線やサイドの選手は、もっと三田からのパスを意識してほしいです。それと、前半であわや失点！の場面。体を張ってシュートをブロックした野垣内にも感謝です。恭平の思わぬ負傷交代と、2人のブラジル人選手のボール・キープと配球に苦労したとはいえ、なんとかギリギリ勝ち点1を上積みできました。順位を上げるためにはもっと、もっと選手間のコミュニケーションを図っていくことが必要です。次の徳島戦も厳しい試合になるでしょうが、どんな相手であれホーム・長良川で負けるわけにはいきません！ボクも最後まで後押しします。みんなで万歳四唱しましょうっ！(ぐん、)

【セカンド】シーズンが開幕しました

FC岐阜SECOND(以下2ND)は東海社会人一部リーグに活躍の場を移しています。ここまで、昨年度上位のFC刈谷や藤枝MYFCを相手に1勝1分と新規参入組にしては出来過ぎの感。この岐大通の配布時には、第3節FC鈴鹿戦(GK水谷が在籍)の結果が出ていると思います。

2006年、TOPチームが東海一部を1年で駆け抜けざるをえなかった。またそれに私たちもついて行った。その結果、岐阜にJリーグのチームが誕生したのです。あの当時私は東海社会人リーグがどうしたものなのかを全く知らないままスタジアムに足を運んでいました。その舞台によろやく2NDが立ち、まだたった2試合ですがその楽しさを十二分に味わっています。また、長良クラブも東海2部リーグで岐阜の代表としてがんばっております。ここで、様々な人々のサッカーへの携わり方を知ることが出来るかもしれません。一度、勝敗を別にして気楽に見るのもありかも、基本無料です！(苦笑)。(ち~な)

不意ながら「最下位対決」となったアウェイでの横浜FC戦。GW3連戦の疲れもあるだろうし、前節は1-3で敗戦したので、木村監督はメンバーをいじってくるかと思ったのだが...スタメンは前節と変わっていませんでしたので、個人的にはちょっと不安？不満？しかし不安に反して、試合開始からFC岐阜が流れを掴んだ。選手達は積極的に前線からボールを追い、シンプルに前に運び、シュートを狙う。すると10分、染矢が敵陣深くでボールを受け、切り返して敵のマークを外すと左足でクロス上げる。これを中央で洗いがヘッドで決めて先制点！改めて、今年の染矢は期待できるかも...と思われたプレーだった。

その後も、勢いは(若干だったが)岐阜のペース。前に上がっていたGKの位置を見透かした押谷のロングシュートがGKの頭上を越え、よし、ビューティフルゴールで追加点...と思ったけれど、惜しくもゴールポスト。振り返ってみると、アレが入ってくれていたら...。このペースのままでいけば...と思っていた35分、相手に早めのボールをゴール前に入れられると、なんとGK恭平とSB明弘が交錯！しかも、明弘の足に当たったボールは無情にもゴールに吸い込まれ...オウンゴール。前節でも失点し課題となっていた、GKとDF陣の連携不足の問題が、またしても失点に繋がってしまうとは...それだけならまだしも、その明弘の足が恭平の顔面(額?)にヒットして流血。ともxとも出ない中で恭平は暫く動けず、治療にも5分近くを要したので非常に心配だったが、なんとか立ち上がった試合再開。5分もの中断時間が試合の流れを変えてしまわないかと心配だったが、そのままの勢いで前半を終了する。

後半、負傷したが交代しなくて大丈夫かな？と思っていたGK恭平はやはり村尾に交替。一方の横浜は、ファビーニョとカイオを投入する。しかも、MFのファビーニョは分かるが...FW、しかも#10のカイオがボランチ！？と驚きのポジションに。おいおいマジかよ...と最初は思ったが、これが悔しい事に、実に有効な交替だった。技術のあるブラジル人コンビでウチの攻撃を防ぎ、タメを作ってボールを前線に供給し、時には攻撃に参加するので、試合は完全に横浜ペースに。岐阜の選手達もボールを奪って攻撃するが、なかなか決定機を作ることが出来ず、逆に何度も決定機を作られてしまう。横浜のミスにも助けられ、なんとかゴールを守り続ける守備陣。後半45分間はハラハラしながら、試合終了。最下位同士で勝ち点1を分け合う結果となった。

このアウェイでの勝ち点1は、「勿体ない」とも、「かろうじて」とも思える。実に複雑なものだと思うが、個人的には「勿体ない」の方が大きかった。しかも、2戦連続でGKとDFが交錯して失点してしまうとは...。交錯自体を責めるつもりはないのだが...パスミスも多いことを考えると、試合中にちゃんと声を出し合っただけでコミュニケーションをとっているのか？と残念ながら疑問を持たざるを得ない。また、同じ理由から、味方がボールを持った状況でのフォローが足りないようにも感じる。声を出してボールを貰いに行くのではなく、ボールが来るのを待っているために、敵にボールを奪われてカウンターされてしまう場面が気になった。

なかなか結果が出ない厳しい状況ではあるが、今後も選手たちは気持ちを見せて、最後までひたむきにプレイしてほしい。それが必ず結果に繋がると信じて、僕も声援を送り続けたい。

それにしても、試合終了後の挨拶の光景は両チームで非常に対照的だった。こちらはチャントを歌いながら選手達を迎えたのだが、横浜サポは拍手もせずブーイング...だったのかな？抗議して居残りしてる人もいたみたいだが...まあ、ホームだから気持ちは分らないかもしれないが、「日本サッカー界の至宝」キング・カズにブーイングする(できる)とは、羨ましいような、羨ましくないような(苦笑)。(ささたく)

ALADDIN

何も無い店けど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店けど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：日曜日(今日はお休みです)

